



2025年  
(令和7年)  
第35号



介護予防サポーターだより

エンジョイ! サポーター!!



サポーター養成講座  
修了者  
1216名  
(2025年6月現在)

## 川崎市のパターン・ランゲージについて聴きました

川崎市の健康福祉局総合リハビリテーション推進センターでは、「**パターン・ランゲージ**」というツールを使って、地域包括支援センターなどで相談支援に携わる方々のコツや経験則などをまとめ、関係者が広く共有して、支援の質を高めるために活用しています。(https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000149753.html)



推進センター職員の方々

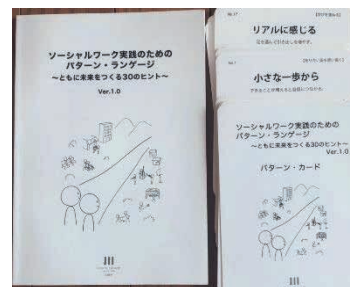
この話を伝え聞き、推進センター主催の読書会にも参加した広報チームのメンバーを中心に、興味を持った方々も含めて、推進センターの企画・推進連携課を訪問して、このような活動がどうして始まったのか、その苦労話とともに、現在の状況、これからの計画などのお話を聴いてきました。

♡ 最初のきっかけは何だったのでしょうか？

パターン・ランゲージは、元々は建築・都市計画の分野で使われましたが、その後ソフトウェア開発など多くの分野で使われました。川崎市にもパターン・ランゲージについての経験者がいたことと、『旅のことばー認知症とともによりよく生きるためのヒントー』（丸善出版、2015）という本がきっかけになって、ソーシャルワークをテーマにしたパターン・ランゲージを作ろうという試みが2022年ごろから始まりました。

▼ ソーシャルワークのためのパターン・ランゲージをまとめるのに特に苦労されたのは、どのようなところで、今は、どんな状況ですか？

現場で実践されている地域包括支援センター職員、ケアマネジャー、基幹相談支援センター職員、医療ソーシャルワーカー、行政職員などにインタビューして、データを作りました。その資料は1000枚を超え、膨大な量でしたが、そこから共通のパターンを抽出する作業が大変でした。しかし、その結果として、冊子『ソーシャルワーク実践のためのパターン・ランゲージ～ともに未来をつくる30のヒント～』と、そのパターン・カードができて、皆さんに利用していただけるようになりました。読書会、使い方講座・出前講座を行い、多数の方（2024年度は600人以上）が参加し、リモートの読書会には、日本全国から参加があります。



🍎 今後の活動はどのようなことを考えておられますか？

私たちだけでは限界があるので、「ソーシャルワーク・パターン・スペシャリスト」（川崎市内在住、在勤、在学の方限定）を養成・認定する活動を開始しようとしています。